

気ままに ブックトーク!

#3 「最近読んだイチオシ本 part2」



第3回は、参加者どうして最近読んだおススメ本を紹介しました。あいにくの雨で参加者は少なかったのですが、それぞれのおススメの紹介や意見交換の時間をたっぷりとることができました。持参された本以外にもおススメが紹介され、非常に盛り上がりました。



【参加者のおススメ本】

- ・井上 靖『額田王』
- ・ジョー・バイデン『約束してくれないか、父さん: 希望、苦難、そして決意の日々』
- ・楊 逸(ヤン・イー)『時が滲む朝』
- ・上橋菜穂子『獣の奏者』I、II
- ・野間秀樹『K-POP 原論』
- ・イ・ジヘン『BTSとARMY:わたしたちは連帯する』
- ・ハン・ガン『少年が来る』
- ・夢枕獏『仰天・俳句噺』

〈そのほか話題になった本〉

- 『茜さす』『天上の虹』
- 『コタンの口笛』『愛の妖精』
- 『ドナウの旅人』
- 『英国女性ガーデナー物語』
- 『精霊の守り人』シリーズ などなど

おススメ本の紹介を聞く時間は、「サプライズのプレゼント」、または「ごほうび」です。どんな本に会えるかな…と、当日より前からわくわくしています。

今回のおすすめの紹介を少しだけ紹介します。
「古代の三角関係はおおらか」「バイデンさんの最初の奥さんや子どもとの家族関係が胸を打った」
「楊逸さんの本は何冊か読んだけれど、これが代表作」
「家族の中で唯一ファンタジーが苦手な私が、上橋さんの本はおもしろいということで、読んでみた。Iで終わりかなと思っていたが、IIまで読んでしまった。家族にびっくりされた」

「韓国の方との交流集会があったので、韓国の文化を学んでおこうと。とくにK-POPはまったく聞いたことがなかったけれど、反戦アートという視点から考えているのがおもしろかった」「俳句噺はタイトルから想像できないが、作家のリンパがん闘病記。俳句を詠むまで寄り道一杯で楽しかった」

そのほか、「小学校の時に読んだ本を読み直したけれど、おもしろくなかったし、問題があることもわかった」「年をとってから読むと、若い時とは違う登場人物に感情移入して読んでいた」などなど…



次回のブックトークは、7月11日(金)13:30-15:30

【内容:『おいしいアンソロジー おやつ』(大和文庫) [当日余裕があれば、楊逸『すき・やき』も]

図書室ひろばは、予約なし・参加費無料の、気軽にみなさんが集える場所です 事業をやってみたい方は、ぜひ岡上分館までお問い合わせください